

# 池田泉州ホールディングス 決算レポート

## 業績 High Light 第5次中期経営計画の進捗



詳細情報は  
コチラ

2021年度 第1四半期の純利益は**31億円**  
(前年同期比+16億円、通期計画56億円に対し順調に進捗)

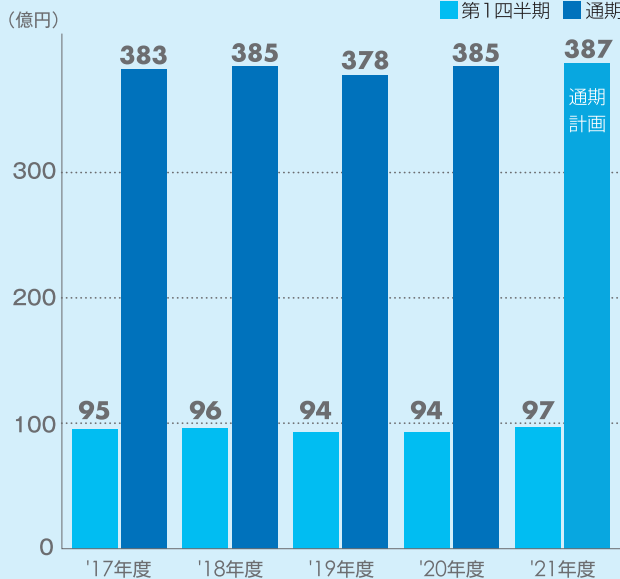
### 預貸金収支

預金と貸出金の利ざやから得られる

預貸金収支は**97億円**

(前年同期比+3億円)

■ 第1四半期 ■ 通期



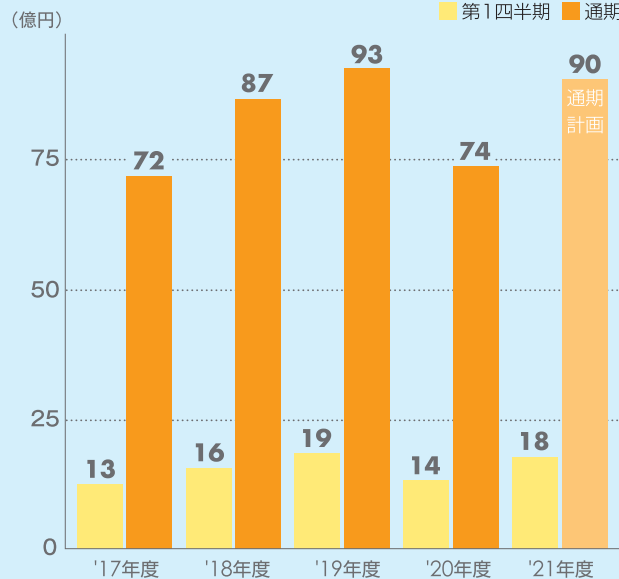
### 非金利収益

個人・法人の手数料を中心とした

非金利収益は**18億円**

(前年同期比+4億円)

■ 第1四半期 ■ 通期



引き続き、新型コロナウイルスの影響を受けた地元取引先の資金繰り支援に注力し、事業性貸出のボリュームが大きく増加したことから、預貸金収支は前年同期比+3億円の97億円で着地。

20年度第1四半期は1回目の緊急事態宣言による営業自粛の影響を受けて減少したが、21年度第1四半期については例年並みの水準を確保し、前年同期比+4億円の18億円で着地。

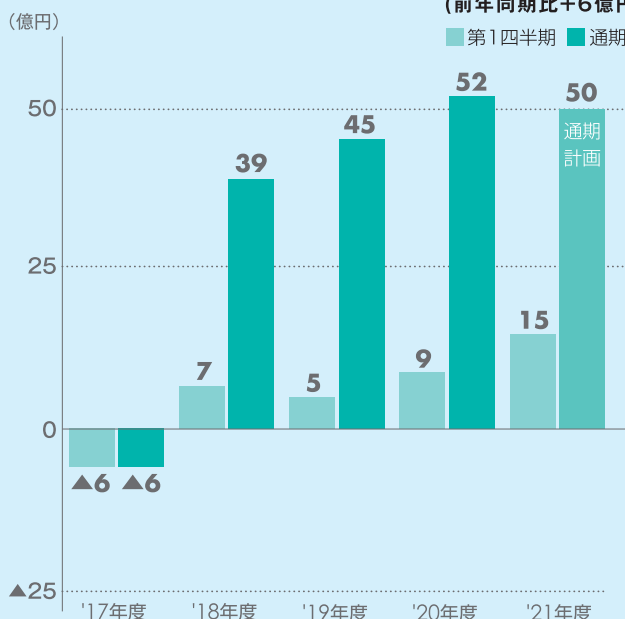
### 本業利益※の状況

お客さまとの取引から得られる

本業利益は**15億円**

(前年同期比+6億円)

■ 第1四半期 ■ 通期

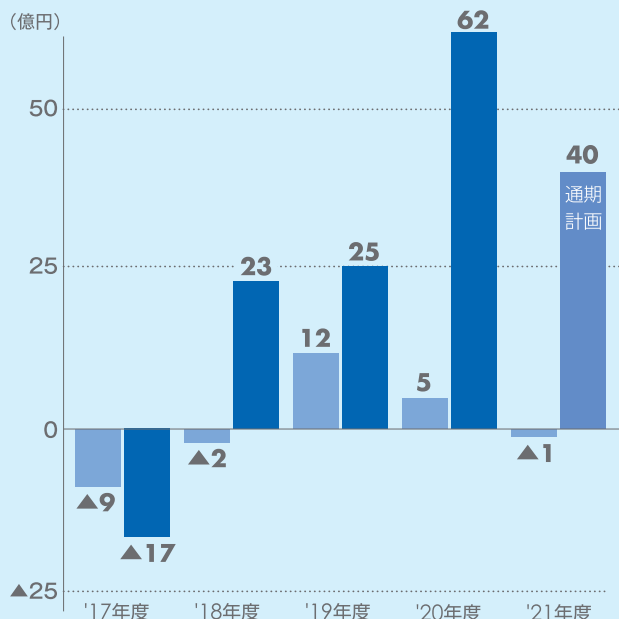


### 与信費用

与信費用は**1億円の戻入**

(前年同期比▲6億円)

■ 第1四半期 ■ 通期



預貸金収支および非金利収益が前年同期比増加したこと等もあり、第1四半期の本業利益は前年同期比+6億円の15億円で着地。

20年度の与信費用は、新型コロナウイルスの影響に鑑みて予防的引当を実施したことから、62億円。

21年度も新型コロナウイルスの影響に鑑み、通期では40億円を計画しているが、第1四半期の与信費用は前年同期比▲6億円の1億円戻入で着地。

※貸出残高×預貸金利回り差+債務取引等利益-営業経費